

ふれあい天文学のご案内

保護者の皆様へ

紅葉の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年度に続き、国立天文台の天文学者が全国各地の小中学校にて授業を行う「ふれあい天文学」が今年も本校で行われることとなりました。天文学者と生徒が直接出会い、専門的な立場から理科の天体の授業を実施していただきます。また、講師の大石先生のご厚意により授業前日の夜に星空教室も実施します。

つきましては、せっかくの機会ですので、保護者の皆様にもご参加いただきたくご案内申し上げます。

平成28年10月3日

中春別中学校 校長 高橋 昭

《講師》

国立天文台 天文データセンター

大石雅寿（おおいしまさとし）氏

「最近、宇宙にある生命素材物質の研究をしています」（大石先生のツイッターより）

国立天文台天文データセンターの大石雅寿センター長を中心とする研究チームは、生命に必須なアミノ酸であるグリシンの前段階物質と考えられるメチルアミンを、国立天文台野辺山観測所の45m大型電波望遠鏡によって複数の星形成領域において検出することに成功しました。同チームは、これまでの研究成果も総合することにより、宇宙に豊富に存在する青酸を出発物質とし、段階的に複雑化することを通じてグリシンが作られている可能性が高いことを世界で初めて観測的に示しました。宇宙由来の生命素材物質は、惑星形成過程で彗星や隕石によって惑星に運搬され、その後の複雑な化学進化を経て生命に至ったと考えられ、他の惑星系にも生命が存在する期待を高める結果と考えられます。（2014.9.30 国立天文台NEWS）



星空教室

『星空教室』

☆10月6日（木） 午後6時より30～45分程度

☆場所 中春別中学校グラウンド

☆参加自由 小学生・中学生は保護者の方の送迎をお願いいたします。

☆天気が悪い場合は中学校体育館でプラネタリウムソフトを使って、疑似宇宙旅行体験をする予定です。また、講師の到着時間の関係で中止とさせていただく場合もありますのでご了承ください。



ふれあい天文学

『宇宙138億年の歴史』

☆10月7日（金） 3時間目 全校理科『宇宙のひろがり』（10:30～11:30）

☆場所 中春別中学校多目的ホール

☆参加 中春中1～3年生

保護者の方の参観も大歓迎です。ぜひ、お越しください。

☆内容 宇宙の始まりと膨張、星の誕生と死、宇宙はこれからどうなっていくのか、など。

※講師の大石先生は飛行機を乗り継いでいらっしゃいます。出発がキャンセルになると全て中止になってしまいます。